



島根いのちの電話

第 68 号

2019年1月

(平成30年度)

浅利海水浴場付近



(江津市)

島根県共同募金会テーマ募金「島根いのちの電話」に、ご協力をお願いいたします。3/31まで

—24時間眠らぬ電話を目指して— 島根いのちの電話

ひとりぼっちで悩まないで… **相談電話 0852-26-7575** 9～22時
年中無休

毎週土曜日は翌朝まで、連続して受けます。

全国共通番号 **ナビダイヤル 0570-783-556** 10～22時

フリーダイヤル 0120-783-556 毎月10日 8時～翌日8時

毎月10日は日本いのちの電話のフリーダイヤル 24時間無料です。

——自殺予防の取り組みについて考える——

島根大学医学部精神医学講座 教授 稲垣正俊氏



■「自死」と「自殺」の用語について

島根いのちの電話では、島根県自死対策総合計画（平成25年3月）に準じて、広報活動等では原則として「自死」を用いることとしていますが、今回は寄稿のため、原文のまま掲載させていただきます。

このことについて、稲垣正俊氏より以下の説明をいただきました。『自殺、自死の用語には、それがどういう死であるかを考えるという重要な側面があり…それぞれの文脈において配慮を持って使用することを期待します（自殺対策円卓会議、平成28年9月22日より）。今回は、国立精神神経センター 自殺予防総合対策センターに勤務していた私の経歴もあり、下記のように表現しております。稲垣正俊 拝』

平成30年の5月1日付で島根大学医学部精神医学講座の教授を拝命しました。島根県の精神科医療、自殺予防活動へ貢献できればと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

自己紹介

さて、はじめに自己紹介させてください。私は、広島大学医学部を卒業後、広島大学医学部

附属病院の精神科で研修を開始しました。そこで精神科の基礎全般の研修を受けました。また、大学病院は総合病院ですので、総合病院の中にある精神科の役割として他の科を受診した、他の病気を持たれた方の精神的・心理的負担の軽減を目指した診療にも精神科医として従事する機会がありました。そのこともあり、その後は、国立がんセンターでがんを患う患者の精神的・心理的負担の軽減について精神科医として対応していました。がんの診断治療場面では、がんと診断が伝えられること、副作用のある抗がん治療のつらさ、治療が終了したとしてもいつ再発するかもしれないという不安、更には、今後の生活や家族のことなど様々な不安・心配が精神的・心理的負担としてのしかかります。時として、これらの負担のために死んだほうがまだマシだとか、死ぬ以外に苦痛から逃れる方法はないと思いつめるほどになることがあります。この自殺念慮を減らすためにできることがないかと模索していましたが、そのこともあり、この後、国立精神・神経センターの自殺予防総合対策センターへ異動し、自殺予防に本格的に関わることとなりました。これらの経歴の中で、その人の自殺を予防するには幾つか異なる段階の対応があると考えに至りました。

自殺予防の3段階

自殺を予防するための対応には、3つの異なる段階があると思っています。

1つは、今まさに自殺しようとしている人の行動を止めること。

2つ目は希死念慮を持つ人の背景にある苦痛を解決に導き、死ぬ以外に方法がないと思っている状態から問題を解決してみようと思えるようにすること。

そして最後は、そもそも、様々な苦痛を抱えずにすむように、生活する中でのありとあらゆる様々な苦難・苦痛への支援が充実することで。

特に一つ目の、今まさに自殺しようとしている人の行動を止めるには、自殺の最終的な行動をなるべく長く引き止めておくだけでも、結果として自殺行動を回避することができます。自殺念慮を持っていたとしても、実際に自殺行動を起こすには相当のエネルギーが必要となりますし、自殺行動自体は衝動的な行動です。そのため、話を聞くことにより自殺行動を実行するまでの時間を引き伸ばすことができれば、次第にその衝動性が消失し、一旦自殺行動を止めることができます。衝動性は長くは続きません。また、自殺念慮を持っていたとしても、「死にたい」と思っているわけではなく「他に助かる方法がないなら、こんなに苦しいなら、死んだほうがマシだ」と考えており、「他に方法があるなら死にたくないし、苦しさがなくなるのであれば死ななくてすむのに」とも心の中で思っています。今のつらい状況について話を聞いてあげるだけで、その時の自殺行動を一旦回避することができます。このように、いのちの電話

により、自殺を一旦回避できた人が大勢いるはずで

す。また、2つ目の自殺予防である、背景にある問題や苦痛の解決を一緒にしてあげることができれば、さらに、自殺念慮自体も軽減するはずです。いのちの電話は、自殺行動の直接の回避だけでなく、更には、自殺念慮の背景に問題や苦痛の解決にも重要な役割を果たしていると考えています。

最後に

島根大学医学部精神医学講座として、これからも精神科医療を介して、そして、いのちの電話の皆さまや、地域で活動する多くの人々と協力しながら、様々な問題、特に、精神障害による精神的・心理的苦痛を抱える人々の支援を行っていきたくと希望しております。

精神障害を抱えて生きていくこと、身体疾患を抱えて生きていくこと、これらの病気による身体的心理的苦痛の軽減を目指していきます。

皆様方、今後とも何卒、ご指導・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

【稲垣正俊教授・プロフィール】

1994 広島大学医学部卒業

2003 米国立精神保健研究所客員研究員

2005 国立がんセンター東病院精神科

2007 国立精神・神経センター精神保健研究所
自殺予防総合対策センター 適応障害研究室長

2015 岡山大学病院精神科神経科 講師

2018 島根大学医学部精神医学講座 教授



相談員の意識調査から



「島根いのちの電話」では昨年度「相談員の意識調査」を実施しました（相談員103名中64名が回答）。広報委員会では9項目の設問のうち、「A：あなたが、いのちの電話に関わってよかったと思うことは何ですか」「B：あなたが、いのちの電話を継続できるモチベーションは何ですか」の問いに対する回答（自由記述）をキーワード（「傾聴」「研修・スキル」「気づき・視野の拡がり」「自分自身を見つめ直す」「仲間」「電話（かけ手との関わり）を通して」「社会参加・ボランティア」「責任感・使命感」）によって分類し、調査結果の考察を試みました。



A あなたが、いのちの電話に関わってよかったと思うことは何ですか

主な回答例

「傾聴」

- ・人の話が丁寧に聴けるようになった
- ・人の言葉を受け入れ、物事を真剣に考えるようになった

「研修・スキル」

- ・電話相談スキルの向上と実践の場がある
- ・仕事の相談活動にも技法が活かせる
- ・自分のコミュニケーション能力の向上に役に立っていると思う

「気づき・視野の拡がり」

- ・自分とは違う生活環境、悩みや辛さがあるとわかった
- ・人の考え方が様々だとわかり、いろいろな方向からの見方ができるようになった

「自分自身を見つめ直す」

- ・自分自身（性格や人生）を見つめ直すことができ、生き方が前向きになった

- ・自分の内面を意識できるようになり、自分自身が成長できる

「仲間」

- ・同じ志を持つ多くの仲間と出会った
- ・仲間と共に関わっているという安心と信頼
- ・対人関係が楽になり、本音の付き合いができるようになった

「電話（かけ手との関わり）を通して」

- ・「電話してよかった。ありがとう」「あなたと話せてよかった」と喜んでもらえた
- ・かけ手の悩みに寄り添うことで、自分の心が柔軟になっていくように思える

「社会参加・ボランティア」

- ・社会参加をしているという実感がある
- ・ボランティア活動の場が持てたこと

B あなたが、いのちの電話を継続できるモチベーションは何ですか

主な回答例

「研修・スキル」

- ・自己研鑽
- ・研修で勉強させてもらえる
- ・学びの時
- ・研修により啓発される

「気づき・視野の拡がり」

- ・多様な悩みを類似体験できる
- ・人に言えない辛い思いをもって苦しんでおられる人がいかに多いかと感じている

「自分自身を見つめ直す」

- ・自分の心を何事も受け止められる深く広い心にしてもらえると思うから
- ・考え方が幅広く柔軟になり、生きていくのが楽になる

「仲間」

- ・多くの仲間との交流
- ・相談員ひとりひとりの姿。関係性がこちよ
- ・相談員同士で声をかけあい励ましあうこと

「電話（かけ手との関わり）を通して」

- ・かけ手から「ありがとう」と言ってもらえた時は、こちらも嬉しい気持ちになる
- ・かけ手に寄り添っていると実感できた時、自分の存在感ややりがいを感じる

「社会参加・ボランティア」

- ・私でも人の役にたっているのかもしれないと思うことで生きがいを感じる
- ・意味のある社会参加だと、価値を見出しているから

「責任感・使命感」

- ・少しでも人様の役に立てたらという思い
- ・いのちの電話の存在は必要と思うから
- ・自死した身内への思いから
- ・辛い時苦しい時、皆「お互い様」の精神
- ・相談員になった以上責任がある
- ・ボランティアは自分との約束、この言葉を大切に

自由記述の回答を読み込み、浮かび上がったキーワードによって分類してみました。

A Bふたつの設問は、相談員であることのポジティブな面を、相談員自身がどのように捉えているかを示していると考えられます。

まず、相談活動や研修を通して「人の話がよく聴けるようになり」「人の役に立てる、喜んでもらえる」ことがあげられます。さらに「対人関係がらくになった」「(自分の内面や社会の現実など) いろいろな気づきがあり成長できた」など、自分自身の変化や成長を実感できることも大きいようです。「自分の中の固定観念が解けていく」「考え方が柔軟になり、生きていくのが楽になる」「結局、自分が救われていると思う」などの記述もありました。

また、多くの回答で「安心できる」「本音で付き合える」など「仲間」の存在があげられています。かけ手に対してと同様に、仲間にも親身に寄り添おうとする現れなのでしょう。

モチベーションについての回答からは、いろいろなかたちの責任感や使命感が読み取れ、相談員の真摯な姿勢が「いのちの電話」の活動を支えていることを改めて感じました。

「食べることは生きること」

講師 安武信吾氏

安武信吾氏（「はなちゃんのみそ汁」の著者）は新聞社に勤務する傍ら講演活動を行なっています。平成30年12月8日松江市総合文化センター・プラバホールに於いて開催した講演では、子供が弁当を自分で作る日を設けたことでどのようなことになったのか、興味深い話がありました。

「とても感動しました。弁当作りが自己肯定感につながることに、みそ汁作りが生きる力になることを強く感じる講演でした。」と話す参加者もありました。

弁当の日に何が起こるのか。
自分で材料を準備し、作ると…

嫌いなピーマンが、好きになりました。
食が体を作る。食がいのちを作る。
弁当を作ることで、自己肯定感は強まる。

妻の千恵さんが亡くなった後のさみしさから信吾氏は体調を崩したのですが、朝目覚めると、はなちゃんの作ったみそ汁があったのです。・・・

自分が死んだ後、
娘に何を残せるのか

千恵さんは、はなちゃんにみそ汁
の作り方を教えた。



第35回いのちの電話相談員全国研修会 「にいがた大会」報告

全国から約600人の電話相談員が参加して「インターネット・チャット相談」などの分科会、ワークショップが行なわれました。シンポジウムは「自殺総合対策大綱といのちの電話」がテーマに行なわれ、若い人は電話よりSNS・メール相談に頼る傾向があることがわかりました。（SNSとは、LINE、ツイッターなど、インターネットを介して人間関係を構築できるWebサービスの総称です。）

電話による相談者は、いのちの電話設立当初、20代と30代は、それぞれ2～3割を占めていました。最近は、合せて2割程度です。若い人はあまり電話をかけなくなっています。

いのちの電話連盟本部によると、相談内容はメールの場合、自死傾向は45.4%に対して、電話相談の場合、25.5%です。使われる言葉は「死にたい」「消えたい」「いなくなりたい」「ころしてほしい」などです。（Y.H）

（若い人の声）

- ・自分の声を聴かれないから電話ができない。
- ・電話で何か尋ねられたら即答できない。
- ・メールだと、自分の気持ちを安心して伝えられる。
- ・ネット相談が、唯一の救い。

理事会 行事参加

平成30年度 理事会

第1回理事会	平成30年5月12日	いきいきプラザ島根
第1回定時評議員会	平成30年6月3日	いきいきプラザ島根
第2回理事会	平成30年7月16日	いきいきプラザ島根

平成30年度 研修・啓発活動等への行事参加

- 5/25 日本いのちの電話連盟 定時社員総会
- 5/26 日本いのちの電話連盟 事務局長研修
- 6/1 島根県健康福祉部 平成30年島根県自死総合対策連絡協議会
- 6/30 日本いのちの電話連盟 中国・四国事務局長会議
- 7/19 島根県健康福祉部 平成30年度社会福祉法人監査研修会
- 8/30 松江市健康部 平成30年度松江市自死対策事業検討会
- 9/10 島根県松江保健所 平成30年度心いきいきキャンペーン
- 9/16 福島いのちの電話 福島寄り添いFD研修
- 9/27 松江市社会福祉協議会 平成30年度松江市社会福祉大会
- 10/18 日本いのちの電話連盟 いのちの電話相談員全国研修会にいがた大会
- 10/31 島根県松江保健所 平成30年度松江圏域自死総合対策連絡会
- 11/7 島根県警察本部 島根県被害者支援連絡協議会総会
- 11/30 島根県立心と体の相談センター 平成30年自死対策等関係機関研修会
- 12/3 島根県健康福祉部 島根県精神保健福祉相談員資格取得講習会講師派遣

第38期電話相談ボランティア養成講座開講

平成30年10月6日（土）いきいきプラザ島根を会場に第38期電話相談ボランティア養成講座が開講しました。この度は、受講生15名を迎えることができました。

養成講座は昨年につき「人との関係をよくするために」をテーマとした第1課程（公開講座）と「よき聴き手になるために」をテーマにした第2課程とで構成されています。第1課程は、精神疾患の基礎知識、障害をもつ人や高齢者への援助、カウンセリングの基礎などの講義が毎週土曜日午後、3月まで続きます。第2課程は電話相談員として必要な理論や実技と、それに実習を取り入れ学んでいきます。

受講生の皆様にはぜひ第2課程へと進まれ、電話相談ボランティアとして認定を受けられ「島根いのちの電話」で活動されますよう願っています。スタッフ一同応援しています。



2018年7月1日～2018年12月31日

ご支援ありがとうございました

次のかたがたにご支援をいただきました。心から感謝し、ご報告いたします。今後共、変わりませずご指導とご協力をお願い申し上げます。なお、はなはだ勝手ながら敬称は略させていただきます。

社会福祉法人 島根いのちの電話 理事長 **釜瀬 春隆**

【寄付者】 一般社団法人生命保険協会島根県協会 株式会社太陽電機製作所
 湖北ベニヤ株式会社 島根県民共済生活協同組合 しまね信用金庫 中国労働金庫
 日本イーライリリー株式会社 ファイザー株式会社 益田市人権センター

足立 愛子	石橋 裕子	猪野 郁子	今岡 雅史	大西 俊江	門脇 秀夫	門脇 弘政
釜瀬 春隆	木瀬 照康	佐々岡星児	佐々木峰子	佐藤 恵子	澤田 康治	千代延 伸
塚本 隆富	寺本 朝子	ドウマエテツシ	徳岡 光子	永窪 秀臣	錦織 貞子	浜本 隆一
引野 友子	福間 幸子	室津 和男	安田 英彰	山田 稔	吉川 浩二	若杉 陽
若月 恭子	匿名11名					

【維持会員】

安部 利一	安部山星児	池田 淳子	石田 末富	石飛 寛子	今岡 雅史
今川 富夫	岩浅 昭子	岩崎 孝子	岩田 明美	内田由美子	遠藤 知己
大島 久	大畑 信子	岡 透	楫 康治	菅野 恵子	倉井 幸子
小竹原医院	近藤 佳郎	十 楽 寺	新宮 雅子	杉原 瑩子	杉原 純
角 智子	関 龍太郎	総本山一畑寺	園山 正枝	武田 勇	竹並 桃子
塚本 隆富	土江三恵子	徳岡 光子	豊松 展史	鳥屋尾修康	永岡 秀之
長崎 康弘	中島 文子	中田 俊光	名原 供枝	野浪 達司	引野 真也
福島 律子	福田 賢司	藤原 嘉樹	藤原 俊一	昌子 睦子	美川 寛
山内 愛子	山根 礼子	山本 栄子	山本 尚樹	湯原 紀二	芳川 博純
匿名18名					若槻 淑子

【団体会員】 飯島クリニック 一般社団法人松江市医師会 医療法人さとうクリニック
 奥出雲町社会福祉協議会 株式会社小林電機 株式会社ジュンテンドー 株式会社博愛社
 株式会社みしまや 公益社団法人島根県看護協会 公益社団法人島根県断酒新生会
 合資会社山陰モーター商会 こころの診療所細田クリニック 山陰信販株式会社
 山陰総合リース株式会社 島根県医師会 島根県司法書士会 島根県精神保健福祉士会
 島根県農業協同組合くにびき地区本部 島根県農業協同組合やすぎ地区本部
 島根大学医学部精神医学講座 島根日野自動車株式会社 社会医療法人昌林会
 社会福祉法人浜田市社会福祉協議会 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会 禅覚寺
 みやもとクリニック 安来第一病院 有限会社コクヨー レディースメンタルクリニック一粒の麦
 和幸株式会社

【賛助会員】

青木 志保	青笹 美香	青柳 和弘	青山 徳子	明正 浩敬	吾郷 篤志
吾郷 隆	吾郷 寿子	吾郷 朋之	浅沼 里美	安食 剛	安食 治外
安達 隆寿	安達 道子	安部山 亨	荒木 順子	飯塚 修司	池田 誠
石岡 博	石川 祐子	石川 祐子	石原 敬治	石丸 秀樹	井手 久武
伊藤 恭子	伊藤 修	伊藤 宏	伊藤 誠	糸原 一志	糸原 勝則
犬丸 淳	井上 慎二	井上 道子	今井奈保子	今岡 重之	今岡 久
岩成 俊治	岩野 真保	植田真矢樹	上野 里美	内田 千寿	内田 伸治
					内富美由紀

内部 宏	宇都宮拓也	宇原 均	遠藤 修	遠藤 博志	塩冶 隆彦	塩冶 朋江
岡 達郎	岡 透	岡崎 國郎	岡本 成生	小川 智大	落合 真紀	小野 樹里
小村 浩二	勝部かつこ	勝部 卓治	勝部 祐二	加藤 健	加藤 幸子	加藤 仁志
門脇 和也	門脇 亮	金築 豊和	鎌谷 正文	狩野 通	川島 輝紀	川島 靖将
川瀬 春香	川村 格	神田 文明	北山亜紀子	京谷 大輔	清山真理子	桐田 和幸
桐山 優子	来間 律夫	小塚 瑞枝	小塚 豊	古藤 順子	小仲 靖子	小橋 創
小林 領一	小原 圭司	近藤 勝彦	近藤 訓代	斎藤 涉	斎藤 浩美	境 英治
坂栄 一秀	阪口 良則	坂根 祐二	坂本 偉健	坂本 直美	坂本 弘子	佐川 賢一
佐草 利博	佐々木昭子	佐々木拓郎	佐々木仁志	佐々木真子	幸林 仁	佐藤 麦
実重 修	下諸可奈絵	城市 賢二	末成 弘明	杉谷 亮	周藤あさ子	澄田 恵理
曾田 彰二	曾田 紀子	大國 一寿	高橋 尚寿	高橋 幸枝	高見 理子	高宮 克彦
高宮 正明	瀧 広志	宅間 潤	竹森 順子	田坂 裕嗣	田中 徹	田中 正樹
田部富実江	田邊和佳子	谷口 栄作	田原 賢司	玉田 珠美	土江 徹	土江 裕之
常松 基子	坪内加代子	津森なつき	飛 浩隆	土井 晃一	穂葉 寛佳	徳永 恵美
富金原央嗣	友井 泰範	戸谷亜矢子	内藤 艶子	長岡 秀樹	長崎 康弘	永田 淳
永富 順子	永野 公	中村 幸治	成相 房枝	西 明美	西川 省三	錦織 香
錦織 友紀	錦織 厚雄	西谷 郁子	新田 英夫	丹羽野絵美	丹羽野 裕	貫里貴恵子
野坂 一弥	野坂 啓二	長谷川伸子	秦 尚裕	服部 聡太	花岡真由美	林 一彦
林 はづき	林 美夏	林 礼子	林原 修	原 和也	原 宏	曳野 晃天
引野 萌子	日野 揚之	平井 薫	平江 結	平岡 昇	平田 誠	平田 雅子
平谷 伸吾	広戸 良晴	福島 稔	福頼 尚志	福間 俊行	福間 靖徳	福間 祐介
藤井 俊彦	藤井 洋光	藤原 卓	舟木 秀夫	古瀬 和久	星野 芳伸	細木由紀子
細田 幸二	堀江亜由美	堀江 隆典	本田 勝己	前田 祐治	牧野由美子	眞田 美紀
町田 清貴	松浦香代子	松尾 俊	松田 智美	松田 裕朋	松林あずさ	松本 修吉
松本 新吾	三谷 耕司	宮阪 敏章	宮本 和樹	宮本 寛子	森川 卓	森永 修司
森本 敬史	森山 悦子	森脇 和也	安田 雄治	山崎 和子	山崎 一幸	山崎 浩司
山崎 祥	山田島義古	山名 江里	山根 敏雄	山根 盛宏	横川 裕	吉井千栄子
吉岡 淳	吉川 敏彦	吉田 孝子	吉田 智美	渡部 晴喜	渡邊 利恵	安来市役所

匿名526名

※島根いのちの電話の事業は、松江市社会福祉協議会から配分を受けた篤志寄付金を財源の一部として行っています。
 ※この広報誌は赤い羽根共同募金からの助成金を費用の一部に充当させていただいています。

あなたのご支援をお願いします。

島根いのちの電話は、約100名の相談員と維持会員・賛助会員の皆さま、ご寄付頂いた方々のボランティアの力で支えられています。いのちの電話相談は無償の活動ですが、センターは相談員の養成や研修、維持費等で多額の運営費を必要としています。ぜひ皆さまのご支援ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

○維持会員（会員として毎年度会費を納めて頂く方） 年2回発行の広報誌、公開講座のご案内などをお送りします。

個人会員・・・3,000円以上 団体会員・・・10,000円以上

○賛助会員（金額は自由です。いつでもご支援ください。）

○寄 付 社会福祉事業へのご寄附は税法上の優遇措置があります。

当法人は平成29年10月10日より寄付金の税額控除対象法人として認められています。

・個人は、確定申告によって税額控除か所得控除のいずれか有利な控除を選択できます。所得控除は「特定寄付金」として、支出寄付金額から2000円を控除した金額と総所得金額の40%の少ない金額の範囲内で寄付金控除の対象になります。

・法人は、「特定公益増進法人」への寄付金として、一定金額内で損金算入ができます。

詳細はいのちの電話事務局（0852-32-5985）にお尋ねください。

お振り込みは ①郵便振替 01460-6-9398 社会福祉法人島根いのちの電話
 ②山陰合同銀行津田支店（普）2385156 フク シマネイノチノデンワ
 ※事務局にご連絡いただければ振り込み用紙をお送りいたします。



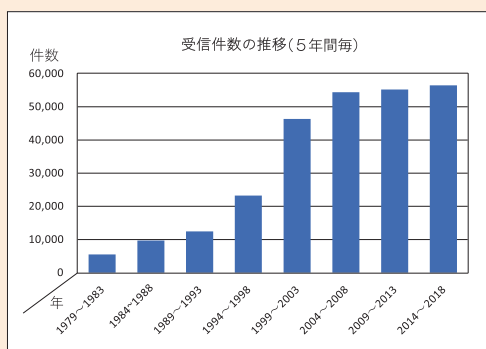
島根いのちの電話は本年7月開局40周年を迎えます。

あなたも相談ボランティア活動に参加していただけますか？

島根いのちの電話は1979年7月10日全国で7番目に開局し、皆様のご支援と相談員のボランティア活動に支えられ40年の歴史を刻んでまいりました。相談電話は40年間で263,326件を数えています。(下図参照)

開局以来少しずつ相談体制の充実を図り、現在365日、年中無休の電話相談に松江と浜田地域で約100人の相談員が活動しています。

いのちの電話は人間関係が希薄になったといわれる今日「自分の思いを誰かに聞いてもらいたい、一緒に考えてほしい、死にたい・・・」などの思いを抱えて苦しんでいる方たちに電話を通して寄り添い、ともに考えることが自死予防の第一歩と考えています。



この活動は、主婦や仕事などを持ちながら一定の研修を受けたボランティアで支えられています。皆さまの相談ボランティア活動への参加をお願いし、これからの活動に備えてまいりたいと考えています。関心をお持ちの方はぜひ事務局までお問い合わせください。



編集後記



この広報誌も「平成最後」の発行となりました。

島根いのちの電話は、開局後理事長となられた古曾志恵洪氏の自死防止へのひたむきな情熱と行動力によって実現しました。また多くの方々の尽力もありました。

電話相談員の中には平成の始まるころ、相談員になられた現役の方もおられます。

意識調査からは相談員一人一人の思いが伝わってきます。今年2月には、平成最後の相談員が誕生します。

島根いのちの電話は新しい元号とともに、40周年を迎えます。また新しい歴史が始まることを期待しています。(編集子)

表紙

江津市浅利海水浴場の見える国道9号線沿いのこの場所は、近年撮影スポットとして注目されています。近くには、柿本人麻呂が歌に詠んだ浅利富士(室神山・写真右側付近)があります。柿本人麻呂の歌に出てくる「屋上の山」は室神山を示すものといわれています。撮影の日、きれいな写真が撮れることを願いつつ出発しました。午前中東側は日陰になり、雲も多く今ひとつでした。昼過ぎ、訃報が届きました。石見第一期の電話相談員として頑張ってくられたTさんでした。午後にもう一度同じ場所に立つと、この写真が撮れました。…Tさん、ありがとうございました。

社会福祉法人 島根いのちの電話
事務局 〒690-0011 松江市東津田町1741-3
いきいきプラザ島根
TEL (0852) 32-5985
FAX (0852) 32-5986
Eメール s-inochi@smile.ocn.ne.jp
ホームページURL <http://www.shimane-inochi.jp/>
発行人 理事長 釜瀬春隆
編集 島根いのちの電話広報委員会